



水ぼうそうはワクチンで 予防しましょう

令和6年6月26日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第25週分・6月17日～6月23日)

《インフォメーション》

●水痘(水ぼうそう)

県内の小児科定点からの水痘患者報告数は、2014年からの定期予防接種導入後に大きく減少しました。5歳未満では速やかに減少し、その後も減少傾向が継続しています。また、5歳以上の報告数は2017年以降、2020年までほぼ横ばいでしたが、2021年以降は減少しました(上図)。2024年の患者報告数は、第24週に注意報レベルである定点医療機関当たり1.0人を超えて1.34人/定点となりました。このため、富山県は水痘に関する注意喚起を発表しました。患者の年齢は5歳以上の小児が9割以上を占めており、ワクチン接種後のブレークスルー感染*と考えられました。今週には、県内の水痘の報告数は0.21人/定点に減少しました(下図)。

水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルスの初感染による感染症で、小児期に好発します。感染力が非常に強く、接触感染、飛沫感染、空気感染で人から人へ伝播します。感染後2週間程度の潜伏期間を経て、発熱とかゆみを伴う全身性の発疹で始まります。発疹は水疱、かさぶたへと変化し、通常1週間程度で自然に治癒します。一方で、多くの合併症が知られており、成人や妊婦、免疫不全患者等は重症化のリスクが高く、時に致命的となります。

水痘は、ワクチンで予防可能な疾患です。日本では2014年10月から水痘ワクチンが定期接種となり、生後12～36か月の間に3か月以上の間隔をあけて2回接種することになっています。定期接種の機会を逃さずきちんと2回接種を受けることが重要です。ワクチンを接種しても水痘を発症することがありますが、一般的には軽症です。

※ブレークスルー感染：ワクチンを接種した後でその病原体に感染すること

《全数報告の感染症》

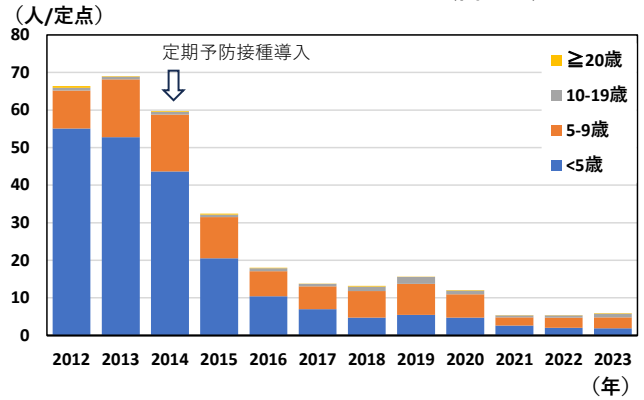
二類感染症 結核 4件 (①20歳代、男性 ②50歳代、女性 ③60歳代、女性 ④100歳代、男性)

五類感染症 梅毒 1件 (第24週診断分：50歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

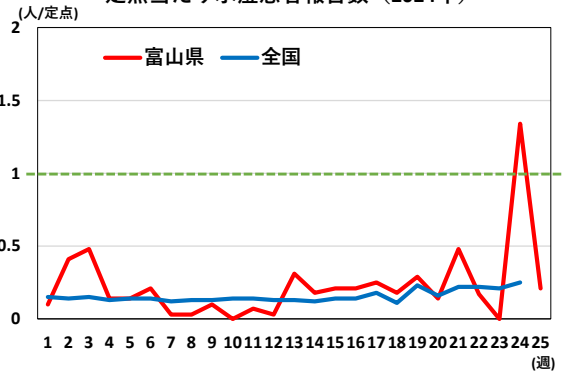
《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	手足口病	5.75 (↑)	5.34
2位	感染性胃腸炎	4.00 (↓)	4.72
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.36 (↓)	4.34
4位	COVID-19	3.20 (↑)	2.55
5位	咽頭結膜熱	2.39 (↑)	2.00
6位	RSウイルス感染症	1.86 (↑)	1.45

定点当たり水痘患者報告数(富山県)



定点当たり水痘患者報告数(2024年)



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第25週 令和6年6月17日～令和6年6月23日）

分類	疾患	今週報告分（第25週）					累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核	1		1	1	1	4	7	2	19	5	27	60
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く	1			1	1	3	4	2	9	3	15	33
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1	3	5	
	四類感染症	E型肝炎										1	1	
		レジオネラ症							1	7	1	14	23	
	五類感染症	アメーバ赤痢										2	2	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症						1		2		8	11	
		急性脳炎								1		1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1		2	1	8	12	
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）									1	2	3	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症								2	1	2	5	
		侵襲性髄膜炎菌感染症										1	1	
		侵襲性肺炎球菌感染症						2		1		4	7	
水痘（入院例）							1	1				2		
梅毒									2	3	7	12		
播種性クリプトコックス症										1	1			
百日咳										1	1			
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（46定点）	インフルエンザ					2	2	1,066	1,029	4,034	1,561	5,067	12,757
		COVID-19	50	15	38	18	26	147	1,295	751	2,318	1,258	2,041	7,663
	小児科定点（28定点）	RSウイルス感染症	2	1	32	2	15	52	25	49	218	35	201	528
		咽頭結膜熱	5	6	22	1	33	67	80	241	618	34	601	1,574
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	57	7	28	94	160	156	2,306	284	1,046	3,952
		感染性胃腸炎	21	12	16	2	61	112	601	593	1,282	638	2,963	6,077
		水痘			2	1	3	6	2	11	95	9	48	165
		手足口病	4	15	50	1	91	161	24	114	118	5	267	528
		伝染性紅斑			1		3	4	1		7	1	6	15
		突発性発しん	1	1	4	2	5	13	7	10	70	17	66	170
		ヘルパンギーナ	1	2	4		23	30	53	8	9	6	54	130
		流行性耳下腺炎	0.25	0.33	0.50	0.67	0.50	0.46						
		眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										2	2
			流行性角結膜炎			1		1	8	1	27	5	9	50
		基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3	3
マイコプラズマ肺炎										6	1	8		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1			1		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）						21	10	31	48	69	179		
	COVID-19による入院患者	4	1	1	2	12	20	106	103	73	128	346	756	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。